

5月11 - 15日週のユーロ円レビュー

May 18, 2009

独・ユーロ圏 GDP 下落が圧迫要因に

High : 134.80 円 Low : 127.96 円

Close : 128.48 円

リスク回避のドル買い・円買いで下落。独・欧 GDP 悪化も圧迫材料となり、ユーロ円は一時 128 円割れ。

5/11 (月) 132.48 円

下落。米銀 4 行の公的資金返済のための増資が、株主価値を希薄化するとされた。こうしたニュースが流れるなか米株値先物が下落。リスク回避の円買い・ドル買いが優勢に。ユーロ円は一時 132 円近辺まで下落した。金融株の動きが冴えず、また「GM 破綻の可能性が高まった」との報道も流れ、米株が下落。ユーロ円は戻りを試す場面でも 133 円近辺で反発を抑えられた。

5/12 (火) 131.68 円

下落。NY 原油先物が 11 月以来の 60 ドル台回復となったことに連動するかたちで、ユーロドルは 3 月 23 日以来の 1.37 ドル台を回復。ユーロ円も一時 133.60 円まで上昇した。ただ、原油価格が反落、米株も売り先行となると、ユーロ円は 130 円後半まで下落した。

5/13 (水) 129.68 円

下落。英 FT 紙の「米国債格下げ」に触れた記事や、民主党・中川氏の「政権を奪取したら米債購入を拒否」との発言でドル売りが先行。ユーロドルは 1.37 ドル前半まで上昇したが、ユーロ円はドル円の下落を受けた円買いで上値が重かった。ネガティブな英四半期インフレ報告を受けると、ポンド円中心にクロス円の売りが活発化。米小売売上が、期待を裏切るかたちで悪化したことも売り材料となり、ユーロ円は 129 円前半へ。

5/14 (木) 130.70 円

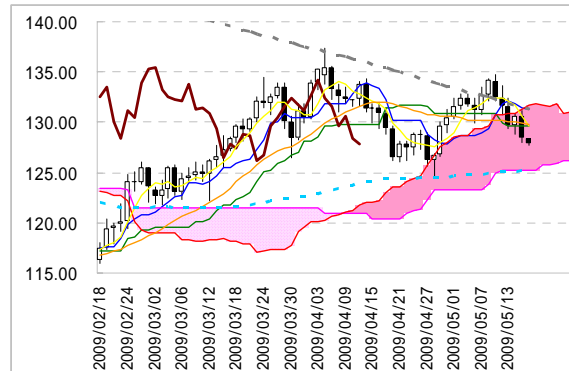
反発。ユーロ円は前日の流れを継いで 129 円割れとなったが、やり過ぎの感も強く、ショートカバーで 131 円手前まで上昇。米株が、金融株に上昇余地ありとの見方が先導して底堅く推移したことが下支えとなった。

5/15 (金) 128.48 円

下落。弱い独・ユーロ圏 GDP を受けてユーロ売りが優勢に。GM のディーラー大量閉鎖、米当局が金融機関 CEO に退任を迫るとの報道が流れるなか米株値が急落。リスク回避の動きでユーロ円は 128 円割れへ。

月日	High	Low
5/11 (月)	134.80 円	132.08 円
5/12 (火)	133.60 円	130.75 円
5/13 (水)	132.40 円	129.35 円
5/14 (木)	130.93 円	128.87 円
5/15 (金)	131.15 円	127.96 円

ユーロ円の推移



テクニカル短期・中期ポイント

134.80 (5月11日高値)

131.71 (日足一目均衡表・雲の上限)

==== 先週末の NY クローズ 128.48 円 =====

124.38 (4月28日安値)

121.73 (3月3日安値)

欧州の重要指標結果

5/13 (水) 【結果】 (前回)

ユーロ圏 3 月鉱工業生産 [-2.0%] (-2.5%)

5/15 (金) 【結果】 (前回)

独 1-3 月期 GDP (前期比) [-3.8%] (-2.2%)

ユーロ圏 1-3 月期 GDP (前期比) [-2.5%] (-1.6%)

アウトルック ダイジェスト版

レンジ : 124.38 - 134.80 円

弱い独・ユーロ圏 1-3 月期 GDP や、リスク回避のドル買い・円買いの流れを受け、ユーロ円は 4 月 29 日以来の 128 円割れとなった。

弱いセンチメントの継続が予想され、ユーロ円は下値を探る展開が想定される。下値のメドは 4 月 28 日からの上昇が「いつて来い」となる 124.38 円。同水準には、今週 125.28 - 125.89 円で推移する日足一目均衡表・雲の下限も位置している。

先週、ほぼ一本調子で進んだ下落に対する調整の反発となる可能性もあるが、131.58 - 131.82 円で推移する雲の上限が抵抗。同水準をこなせても、下落の始点 11 日の高値 134.80 円を上抜くのは難しいだろう。